

アフターサービス

●もしこんな現象が起きたときは・・・故障と思われる前に下表にしたがってお調べください。

現 象	原 因	対 策	参照 ページ
リモコンを操作しても点灯しない。	壁スイッチの電源が入っていない。	壁スイッチの電源を ON にしてください。	—
	コネクタがきちんと接続されていない。	コネクタをしっかりと接続してください。	5
	リモコンの乾電池が間違っている。	乾電池を正しく入れてください。	7
	乾電池が寿命になっている。	新しい乾電池と交換してください。	7
	器具本体とリモコンのチャンネル切り替えスイッチが合っていない。	チャンネル切り替えスイッチを正しく設定してください。	8
	蛍光灯ランプとランプソケットの接続がきちんとされていない。	蛍光灯ランプの口金をランプソケットにしっかりと差し込んでください。	10
	蛍光灯ランプ、保安球が切れている。	新しい蛍光灯ランプ、保安球と交換してください。	10
壁スイッチを操作しても点灯しない。	コネクタがきちんと接続されていない。	コネクタをしっかりと接続してください。	5
	蛍光灯ランプとランプソケットの接続がきちんとされていない。	蛍光灯ランプの口金をランプソケットにしっかりと差し込んでください。	10
	蛍光灯ランプ、保安球が切れている。	新しい蛍光灯ランプ、保安球と交換してください。	10

●このようなことにもご注意ください リモコンで消灯し、壁スイッチを操作しても点灯しない。	ON ・ OFF 状態がわかる壁スイッチの場合	壁スイッチを一度 OFF し、約 1 秒後に再度 ON にしてください。
	ON ・ OFF 状態がわからない壁スイッチの場合 (押しボタン式で押すたびに ON と OFF が切り替わり、今の状態が ON なのか OFF なのかわからないタイプ)	① 壁スイッチを約 1 秒間隔で 2 回押してください。 ② もし①の操作で点灯しないときは、①の操作後 2 秒以上待ってから壁スイッチを約 1 秒間隔で 3 回押してください。

警報器が故障かなと思ったときは

現 象	原 因	対 策	参照 ページ
火災でないのに「ピーピーピー」と警報音が鳴る。	火災以外の煙や水蒸気、スプレーの霧などが発生していませんか？	換気などで煙を取り除いてください。	2, 6
警報停止ボタンを押しても警報音が鳴らない。	電池が正しく接続されていますか？	接続を確認してください。	4
	電池寿命は十分ですか？	本体を交換してください。	4
警報停止ボタンを押したときに「ピピッ」と鳴る。	警報停止の状態になっていませんか？	約 5 分後再テストを行ってください。	6
「ピピピッ」と約 1 分間隔で警報音が鳴る。又は、点検時「ピピッ、ピピピッ」と鳴る。	警報器の故障です。(警報器交換の目安は 10 年ですが、使用環境などで短くなります。)	警報器を交換してください。	4, 6
「ピッ」と約 1 分間隔で警報音が鳴る又は、点検時「ピピッ、ピッ」と鳴る。	電池寿命です。電池寿命警報機能が働いていませんか？(警報器交換・電池寿命の目安は 10 年ですが、使用環境などで短くなります。)	警報器を交換してください。	4, 6
警報音が鳴り止まない。	煙やホコリが感知部に残っていませんか？	煙流入口に息などを吹きかけて煙などを追い出してください。(一度感知すると煙などを取り除いても 30 秒間は鳴り止みません。警報停止ボタンを押すと止まります。)	2, 6
7 秒以上警報停止ボタンを押しても蛍光灯ランプが自動点灯しない。	壁スイッチが「OFF」になっていませんか？	壁スイッチを「ON」にしてください。	—
	信号用及び本体側中間コネクタが正しく接続されていますか？	接続を確認してください。	4, 5

■リチウム電池について

- 警報器に使用のリチウム電池は、市販していません。
*リチウム電池:日立 部品番号 HFD-101 001(電池型式:CR17450E-R-CN10)

*なお、対策を行っても同じ現象が続く場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式（器具銘板に表示してあります。）、現象を連絡のうえ、ご相談ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときにお役にたちます。

購入店名	電話
ご購入年月日	年 月 日

日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 電話(03)3255-5256

取扱説明書

保存用

日立蛍光灯器具

HITACHI
Inspire the Next

らくづけポ
・LED常夜灯つき
・ハイリモコン・ダイレクト

火災警報器つきシーリングライト
新防虫構造「虫ガード」採用

パールミック IC 100W形

このたびは日立蛍光灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

安全上のご注意

⚠ 警告	
●このような場所には取り付けない。 (この器具は天井面取り付け専用です。) *器具の落下によるけがの原因となります。	●このような配線部品には取り付けない。 *火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。
禁止 傾斜天井 押すと簡単にたわむ補強のない天井 ケースウェイ取り付け形ローゼット、シーリングボディ 舟底天井 竿縁天井 格子天井	禁止 角形・丸形引掛シーリングボディ 19mm未満 使用不可 埋込形引掛シーリングローゼット 10mm未満 使用不可 配線部品の出しろが少ないもの 電源が露出しているもの 電気工事店に依頼して配線部品を交換してください。
⚠ 注意	
●定格電圧 交流100V以外で使用しない。 *過熱し、火災の原因となります。	●器具の真下にストーブなどを置かない。 *過熱し、火災の原因となります。
●浴室などの湿気の多い場所や常時温度の高い場所では使用しない。この製品は5～35℃の温度範囲で使用するように設計されています。 *絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。	●屋外で使用しない。(この器具は屋内専用です。) *火災・感電の原因となります。
●調光器（当社商品名ライトロール）と併用しない。 *過熱し、火災の原因となります。	●点灯中および消灯直後は蛍光灯ランプが熱くなっている ので触らない。 *やけどの原因となります。
●お手入れの際や、蛍光灯ランプなどの交換の際は、必ず電源を切る。 *電源を切らないと感電の原因となります。	●器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。 *器具の落下によるけがの原因となります
●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。	

このようなことにもご注意ください

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 周囲温度5℃以下では、点灯しにくい場合がごくまれにあります。
- 短い停電（0.5秒～2秒以内）や電圧の低下などにより、点灯状態が切り替わる場合があります。長期間、器具を使用しない場合は壁スイッチを **OFF** にすることをおすすめします。
- 商品出荷時は器具側を消灯状態としておりますので、据えつけ後点灯確認はなるべくリモコンでお確かめください。
- 室温が低い場合には、ランプの特性上、100%の明るさになるまで数分かかる場合があります。
- 天井の材質や構造によって、天井が変色する場合があります。